

## 特別支援学級（E組）について

本校は、特別支援学級（E組）が設置され、昨年度で10周年を迎えました。昨年度までは、D組と呼んでいましたが、今年度第1学年が4クラスになった関係でE組となりました。

さて、今年度のE組について紹介します。在籍数は、1年生7名、2年生4名、3年生6名の合計17名、3学級（1学級は8名までで構成されます。）、4担任です。

学習の内容は、通常の学級の指導内容に準じた指導を行なうようになっていますが、生徒の障害の状況や学級の実態に合わせて「特別な教育課程」を編成して指導を行なうことができます。そのために、E組では、特別支援学校学習指導要領（知的障害教育）を基にして教育課程を編成し指導を行なっています。



美術科授業 絵画

通常の学級では、各教科（9教科）、特別の教科道徳、総合的な学習の時間等の授業がありますが、特別支援学級では、『教科等を合わせた指導』として「日常生活の指導」「生活単元学習」「作業学習」があります。

「日常生活の指導」は、基本的な生活習慣、あいさつや言葉づかい、時間や決まりを守ることなど日常生活や社会生活における必要で基本的な内容を学習します。

「生活単元学習」は、各教科の目標や内容を合わせて指導する学習形態です。例えば、調理は、通常の学級では「家庭科」の学習です。特別支援学級では、算数・数学で「金銭の学習」、材料等の「分量」、実際に自分たちで買い物に行き調理材料を購入する「買い物学習」、「調理」をする家庭科の学習等を合わせて学習することができます。生徒が、より具体的に实际的に学習することで、学習効果の向上が図れます。

「作業学習」は、作業活動を学習の中心にしながら、生徒の働く意欲や将来の社会生活や自立に必要な事柄を学習するものです。本学級では、刺しゅうを中心に作業をしています。「家庭科」で行なう作品を作ることが目的ではなく、一つの作業を根気よく続けたり、できた時に報告をしたり、技能面だけでなく意欲や態度を育てるように取り組んでいます。

中学校卒業後の進路は、特別支援学校高等部への進学する生徒が多くいます。特別支援学校高等部は、普通科・職能開発科・就業技術科の3つの科があります。生徒一人ひとりの希望により進学先を決めています。その他には、都立のエンカレッジスクールやチャレンジスクール、私立のサポート校へ進学しています。進路は、本人や保護者が将来の社会生活をどのように過ごしたいか、見通しをもって考えてもらうようにしています。また、就労に向けて、障害者雇用促進法に基づいた就労をめざす場合は、愛の手帳（障害者手帳）の取得をするようにしています。

E組生徒が、第七中学校の一員として、楽しい学校生活を過ごせるように「生徒一人ひとりの個性が輝き、ともに生きる明るく楽しい学級」をめざしています。また、本校は、E組があることも踏まえ、障害のある人も、ない人も共に生きる「共生社会」構築のためインクルーシブ教育の取り組みをしています。



職業科（栽培）なすの苗植え